

第13回一関地方畜産共進会

～自慢の愛牛が大集合～



第13回一関地方畜産共進会を7月4日、奥州市江刺のJA全農いわて県南家畜市場で行いました。畜産農家が丹精込めて育てた愛牛を出品し、日頃の飼養管理の成果を競いました。今回の特集では、共進会の結果や、審査の様子などを紹介します。

一関地方畜産共進会実行委員会（JA・一関市・平泉町・JA酪農部会・JA和牛生産部会）が主催する一関地方畜産共進会は、家畜改良増殖の促進と、畜産農家相互の研さんを図ることを目的に開催され、今年で第13回を数えます。

黒毛和種の部には34頭が出品され、名誉賞には那須勉さん（大東）のふくかつ号が選ばれました。

ホルスタイン種の部には23頭が出品され、名誉賞には（有）あぐりずむヤスバ（室根）のアグリスター サイドキック エリザベス ET号が選ばれました。

実行委員長を務めるJAの佐藤一則組合長は、「不安定な国際情勢や異常気象の影響を受ける今こそ、改めて『国産国産』の考えに立ち返り、この共進会を地域から優れた牛を作り出すための機会にしてほしい」とあいさつしました。

黒毛和種の部

黒毛和種の部は出産経験の有無や月齢で区分した4部門で競われました。個体ごとの体形や発育状態のほか、和牛集団の遺伝的多様性の維持・拡大と、将来にわたって系統の特色ある遺伝子を保留・固定していくことや、遺伝子の伝わりなどについて審査しました。



審査員
より

JA全農いわて
稲辺 拓美さん

月齢に応じた発育が良好な牛が多く見られた中で、肩付きがしっかりした、輪郭鮮明で品位に富む牛を上位に選ばせていただきました。愛情を込めて普段の飼養管理を行い、自家産や地元の優れた牛を保留して、産地の発展につなげていただきたいと思います。



大東
那須 勉さん

□総合

名誉賞	氏名	地区	名号
	那須 勉	大東	ふくかつ

ショーマンシップ賞	氏名	地区
	金野 亜由美	千厩

□部門別

○第1区(若雌の1 生後10~14カ月未満)

出品頭数	順位	氏名	地区	名号(血統 父)
9	優等賞	及川 謙一郎	大東	とりうみ73 (福勝鶴)

○第2区(若雌の2 生後14~17カ月未満)

出品頭数	順位	氏名	地区	名号(血統 父)
8	優等賞	藤原 邦男	大東	わかな (勝早桜5)

○第3区(若雌の3 生後17~20カ月未満)

出品頭数	順位	氏名	地区	名号(血統 父)
8	優等賞	那須 勉	大東	ふくかつ (福勝鶴)

○第4区(繁殖雌牛 2産以上)

出品頭数	順位	氏名	地区	名号(血統 父)
9	優等賞	村上 茂	室根	はるか (金太郎3)

ホルスタイン種の部

ホルスタイン種の部は、月齢で区分した4部門で競われました。審査員は(一社)岩手県畜産協会の中山諒一さんが務め、体形や乳器、発育状態などを審査しました。



審査員
より

(一社)岩手県畜産
協会
中山 諒一さん

全部門を通して、骨格構造が正確な牛がそろっていました。出品頭数が少ない部門でも、県内トップクラスと呼べるほどに一頭一頭のレベルが高い印象を受けました。ぜひ9月の県共進会にも挑戦していただきたいと思います。



室根
(有)あぐりずむヤスバ

□総合

名誉賞	氏名	地区	名号
	(有)あぐりずむヤスバ	室根	アグリスター サイドキツク エリザベス ET

ショーマンシップ賞	氏名	地区
	千葉 椋介	川崎

□部門別

○第1部(未経産 8カ月以上12カ月未満)

出品頭数	順位	氏名	地区	名号(血統 父)
13	優等賞	小野寺 哲也	千厩	サウスロード ジャガー ルイス

○第2部(未経産 12カ月以上16カ月未満)

出品頭数	順位	氏名	地区	名号(血統 父)
4	優等賞	(有)あぐりずむヤスバ	室根	アグリスター ルイス ダンディー ハート

○第3部(未経産 16カ月以上20カ月未満)

出品頭数	順位	氏名	地区	名号(血統 父)
3	優等賞	遠藤 正憲	室根	クレーバーフィールド カツサータ ビビアン

○第4部(未経産 20カ月以上)

出品頭数	順位	氏名	地区	名号(血統 父)
3	優等賞	(有)あぐりずむヤスバ	室根	アグリスター サイドキツク エリザベス ET

畜産産地の振興を目指して

畜産業を取り巻く環境は、生産資材価格高騰や離農者増加などの影響により、依然として厳しい状況が続いています。そのような中でも、JA管内の各部会では、消費者へ安全・安心で良質な畜産物を届けるためにさまざまな事業に取り組んでいます。今回は、各部会での取り組みを紹介します。

【JA和牛生産部会】

令和8年度目標

- ・販売頭数 2,300頭
- ・販売金額 15億1,800万円
- ・生産率向上(分娩間隔短縮と事故率低減)
- ・子牛の品質向上

和牛生産部会では生産基盤の強化を課題に掲げ、その中で地域ごとの支部や青年部、女性部、ヘルパー部会の活動を支援することで組織強化を図っています。特にも青年部はこれまで以上に活動に力を注いでおり、独自に研修会を実施したり、飼料メーカー・購買者と懇談したりしています。また、今年度より県南子牛市場が1日開催となりましたが、その中でも高値販売につながるよう、飼養管理やPRに取り組んでいます。



高値販売を期待する子牛市場



千葉 誠 部会長

青年部活動を活発化させることで、今後部会活動を担う若手生産者が活躍できる機会を増やすとともに、部会としてもバックアップをしています。青年部活動を通して、畜産農家として成長してほしいです。

【JA肥育牛部会】

令和8年度目標

- ・販売頭数 580頭
- ・販売金額 6億9,000万円
- ・上物(4~5等級)率 95%
- ・飼養頭数の増頭
- ・家畜死亡事故ゼロ



計量を終え、共励会に向け出荷される牛

素牛頭数減少による価格の高値推移や飼料費の高止まりなどが厳しい課題です。和牛生産部会と協力し、素牛の能力を最大限発揮できるよう、「いわて南牛」生産に尽力します。共励会や研究会への出品にも取り組んでおり、7月28日に行われた第18回いわて南牛枝肉共励会には、36頭を出品しました。



佐藤 良 部会長

飼料や素牛の価格が高騰するだけでなく、全国的に牛のレベルが上がっているため収益を確保しづらいですが、共励会や研究会を通して日頃の飼養管理の質を上げるとともに、自分たちでPRをして消費拡大につなげたいです。

【JA酪農部会】

令和8年度乳質改善目標

- ・乳脂肪率 3.80%以上
- ・無脂乳固形分率 8.50%以上
- ・細菌数 5万未満
- ・体細胞数 20万未満



ミルキングシステム診断で設備を確認するJA職員

乳質改善事業では、搾乳作業の効率化や、乳質を保つための設備と作業フローが正しく運用されているかを調査するミルキングシステム診断を7月中旬に行いました。この他、牛乳・乳製品の消費拡大のために、6月の牛乳月間に合わせてJR一関駅前での牛乳配布やPR活動を行いました。



熊谷 忠人 部会長

安全・安心でおいしい牛乳を作り続けることはもちろん、消費拡大のためのPR活動にも注力します。また、後継者不足に対応するため、UIターン※で移り住んだ人に対して新規就農をアピールする必要があると考えています。

※都市圏から地方へ移住する動きのこと